

## B型肝炎の飲み薬（核酸アナログ製剤）





核酸アナログ製剤は、体内でウイルスが増えるのを抑えて、肝臓の炎症を鎮めてくれる作用があり、**1日1回**の服用で副作用も少ないといった特徴があります。

しかし、ウイルスを完全に消失させる効果はないため、途中で服用をやめてしまうと、ウイルスが増殖し、病気の悪化に繋がります。また、再開した際にお薬が効きにくくなります。

長期間の内服になりますが、**自己判断でやめたりせず、医師の指示のもと正しく服用**してください。

	ベムリディ錠 25 mg	バラクルード錠 0.5 mg
服用方法	1回 25 mg 1日1回	1回 0.5 mg* 1日1回 <b>空腹時</b>
製剤写真		
補足	セイヨウオトギリソウ (セントジョーンズワート)含有食品と 一緒に飲まない	腎障害のある方は 服用量が異なる

\* ラミブジン不応患者には、1mg を 1日 1回

	テノゼット錠 300 mg	ゼフィックス錠 100 mg
服用方法	1回 300 mg 1日1回	1回 100 mg 1日1回
製剤写真		
補足	腎障害のある方は服用量が異なる	

製剤写真は各製薬会社ホームページより引用

## &lt;副作用&gt;

頭痛、むかつきや吐き気、お腹が張ったような感じがする（腹部膨満感）、倦怠感などが現れた場合には、医師や薬剤師にご相談ください。



# リハビリテーション部

理学療法士 鴨川 久美子

## 廃用症候群リハビリについて

### がんのリハビリテーション

近年がんのリハビリテーションでは、がんと診断された後、治療による合併症や後遺症などを予防する目的で治療が始まる前や治療を受けた直後からリハビリテーションを行うことがあります。

がんの治療の時期に応じて、リハビリテーションの目的や役割が異なります。

\*当院では、回復期リハビリを中心に実施しています。

#### 「予防的リハビリテーション」

診断された直後から始めます。筋力訓練や散歩・自転車エルゴメーターなどの有酸素運動で治療にむけて体力作りを行います。

#### 「回復的リハビリテーション」

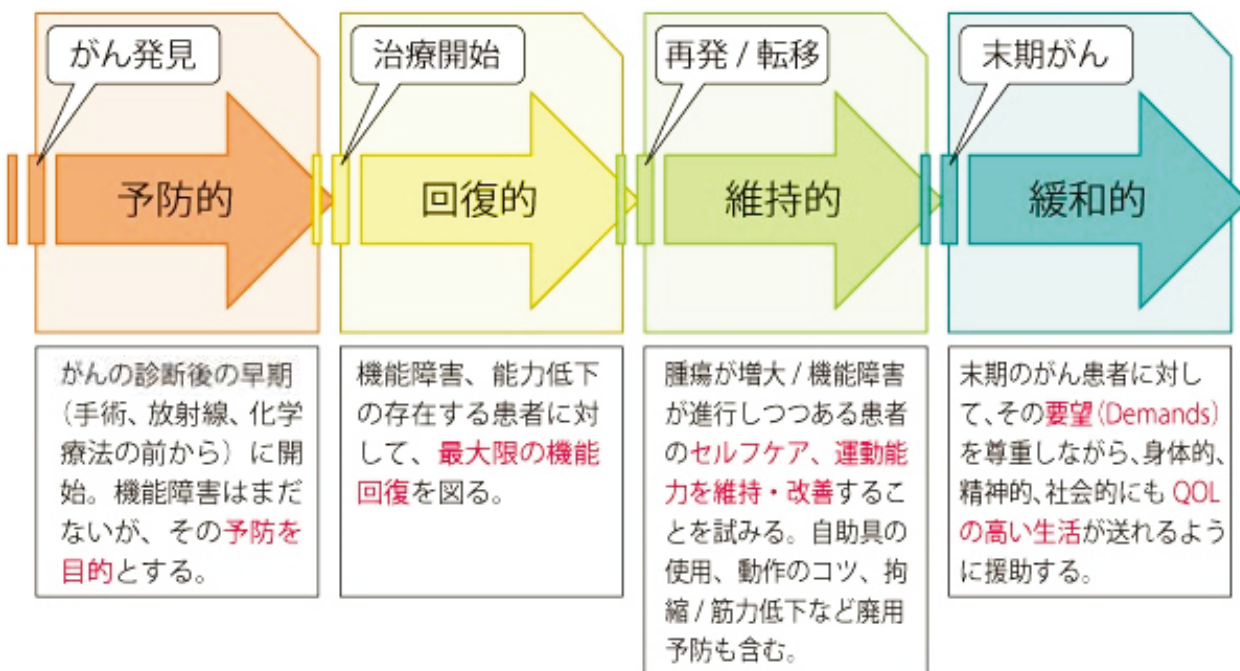
治療と並行して行われるリハビリテーションで、当院でも手術を受けられた場合にはできるだけ早期から起きて歩く練習などを始めます。

#### 「維持的リハビリテーション」

再発や転移のある時期に行います。体調を見ながら、できるだけ転移のある部位に負担の無い範囲でリハビリを行います。

#### 「緩和的リハビリテーション」

ベッド上でのストレッチなど体を動かさないことによって生じる痛みやだるさといった身体的苦痛の軽減を目指します。



日本理学療法士協会より引用

## 手術後のリハビリテーション

現在では、**手術前および手術後早期からリハビリテーションを始めることが良い**とされています。

具体的なメリットとして以下の点が挙げられます。

- (1) 手術による合併症(術後肺炎や深部静脈血栓症)を予防する。
- (2) 早く体を動かすことで後遺症を最小限に抑える。
- (3) 手術後の回復をスムーズにする。
- (4) 早期退院につながる。

### <リハビリテーションの内容>

#### 呼吸練習

手術後の痛みや麻酔の影響で呼吸が浅くなったり、痰がうまく出せず肺炎を起こすことがあります。それらを予防するため腹式呼吸や痰の出し方を練習します。

#### 座位や歩行練習

医師の指示のもと手術の翌日から行うことが多いです。手術後の早い時期から座ったり歩いたりすることも大切です。

さまざまな不安がある時期だと思います。主治医やリハビリスタッフと相談しながら、リハビリテーションを行いましょう。



## 中央放射線部

診療放射線技師 上田 拓

### MRCP (MR 胆管<sup>すい</sup>膵管撮影)

- ◇ MRCP (MR 胆管膵管撮影) は、MRI 装置を用いて胆のうや胆管、膵管を描出する検査です
- ◇ 胆管や胆のうのポリープなどを見つけ出す事ができます
- ◇ 膵臓に関しては、のう胞性病変 (IPMN など)、膵臓ののう胞性腫瘍の検出、膵管及び分岐膵管の拡張、狭窄、途絶、膵臓の萎縮の評価に優れています。

#### メリット

- ・レントゲン、CT 検査のような放射線被ばくがない
- ・内視鏡検査と比較して、非侵襲的で患者さんの負担が少ない

#### デメリット

- ・絶食が必要
- ・体内金属の種類によっては、検査ができない※

#### ※体内金属について

- ・体内に金属が埋め込まれている場合や手術の既往歴がある場合は必ず担当者にご連絡ください。
- ・心臓ペースメーカー植え込み後、人工内耳、脳動脈クリッピング後、インプラントをされている方、妊娠中の方、閉所恐怖症の方など MRI 検査を受けていただけない場合がありますのでお問合せ下さい。



最新の MRI を導入しました!

## ～検査の流れ～

### ① 検査の6時間前からの絶食 (薬や少量の水はかまいません)

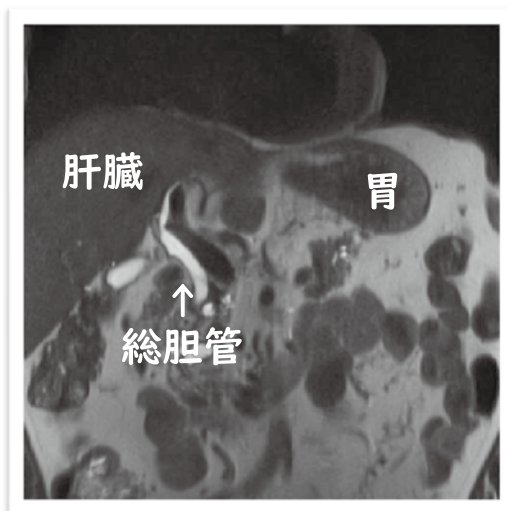
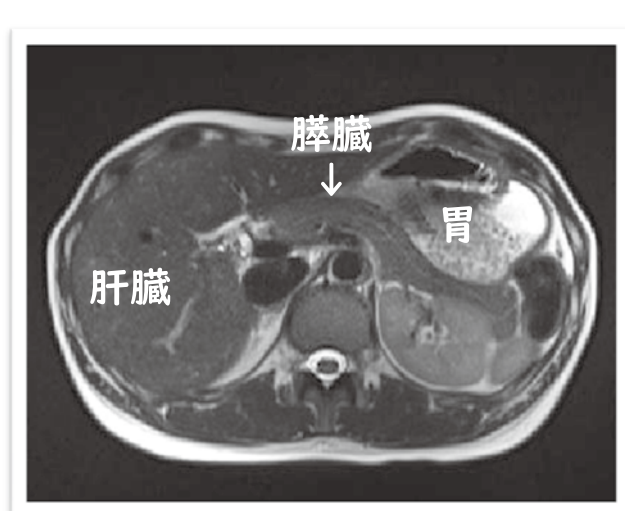
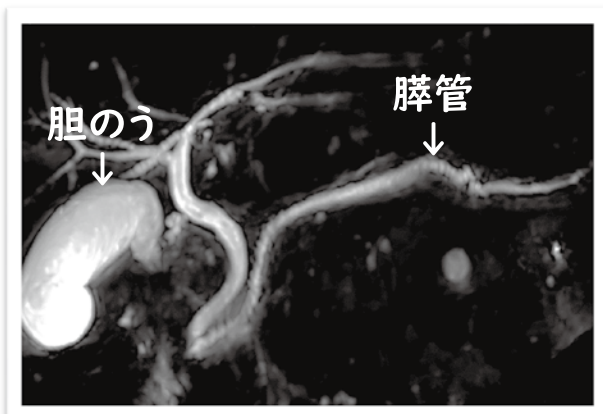
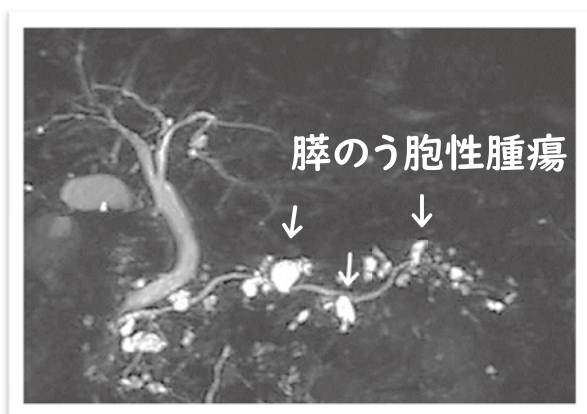
- ・胃の中に飲食物が残っていると、検査の妨げになります
- ・食後すぐは、胆のうが縮んでしまい、膨らむまで時間が必要になってしまいます

### ② 検査直前に MRI 用経口消化管造影剤 (ボースデル) を飲んでもらいます

- ・胃や腸管にある消化液の信号を抑え、胆道や膵管の描出能をあげることができます

### ③ 検査台に仰向けで寝てもらい、検査開始します

- ・検査時間は15分～20分程度です
- ・検査中は、息止めがあります



## 中央臨床検査部

臨床検査技師 吉田 恭教

### 腹部超音波検査〔肝臓・胆のう・<sup>すい</sup>膵臓編〕

超音波検査とは、人の耳では聞こえないほどの高い周波数の音である超音波を用いて体内を調べる検査です。体の中に超音波を送信し、臓器や組織からはね返ってくる音波を映像化します。検査は、超音波が伝わりやすいように体の表面に検査用のゼリーを塗り、超音波の出る器械（プローブ）をあてて検査を行います。検査は、腹部領域・心臓・乳腺・甲状腺・頸動脈・下肢血管など様々な部位を痛みなくリアルタイムに確認する事ができます。

今回は、腹部領域の肝臓・胆のう・膵臓に関して検査紹介いたします。

腹部領域の超音波検査は、血液検査と深く関係しています。

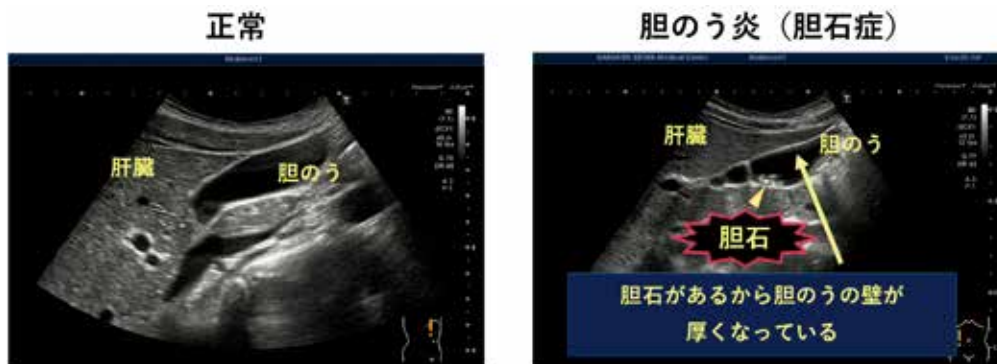
例えば、肝臓は糖分の貯留と放出などの様々な代謝作用やアルコールなどの毒素分解や排泄を行っており、体内環境を整える働きをしています。血液検査では、主に「AST・ALT・ALP・γGTP」で肝臓の機能を評価しており、これらが高値の時は、脂肪肝や肝炎などの肝障害を疑います。超音波検査でも以下の画像のようになっていないのかを確認していきます。悪性腫瘍の時も数値が高くなるので、腫瘍（臓器内のできもの）がないかも確認します。



その他にも、肝障害が長く続くと肝臓が硬くなり、肝硬変となっていき「コリンエステラーゼ・血小板値」が低値になってしまいます。肝硬変がないかを確認するために超音波検査をしていきます。



次に、胆のうは脂肪を分解するために肝臓から作られた胆汁を貯める臓器で食物が十二指腸に到達した時に収縮し、消化を助けます。そのため、検査当日に食事をすると胆のうが収縮するので、超音波検査で確認できないことがあります。血液検査では、主に「ビリルビン値」で胆のうを評価し、高値の時は、胆石や胆のう炎などを疑います。超音波画像でも以下のように胆石を確認することができます。



最後に、膵臓は食物の消化に必要な酵素を十二指腸に分泌し消化を助ける事や血糖値を調整する働きをしています。血液検査では、主に「アミラーゼ値 (AMY)」で膵炎などの炎症がないかを評価しています。膵炎の場合、膵臓の厚みや消化酵素が流れるための管（膵管）に異常がないか超音波画像で確認します。



## 検査を受けられる方への注意事項

腹部超音波検査は、検査の6時間以上前に食事をいただき、その後は絶飲食になります。食事やコーヒー、お茶、ジュースなどの飲水をする事で、胃内に食物が充満するために胃の周囲の臓器や胆のうが収縮するなど、観察できなくなる臓器がでてきます。検査へのご協力のほど、よろしくお願いします。

# 栄養管理部

管理栄養士 八尾 あすか

## 肝臓病の食事

肝臓には体内の不要物を解毒したり、脂質代謝を助ける胆汁を生成したり、栄養素を貯めておく働きがあります。従って慢性肝炎や肝硬変などの慢性肝臓病がある場合は肝臓の負担を軽減するために、①適量のカロリー、②適量のたんぱく質、③脂肪分控えめ、でバランスのとれた食事を朝・昼・夕の3食規則正しく摂ることが基本となります。たんぱく質は動物性（肉・魚・卵・乳製品）に偏らず、植物性（豆類）も適度に摂ることが望ましいです。肝臓の貯蔵力が低下することによって、ビタミン・ミネラルが不足しやすくなりますので緑黄色野菜や果物を十分に摂取することも心がけましょう。緑黄色野菜や果物には食物繊維も豊富に含まれています。

ただし肝硬変で症状がある場合は、塩分制限やたんぱく質制限が必要な場合があります。その場合は医師や管理栄養士からの個別の指導に従ってください。

### お す す め レ シ ピ

## ふわふわ豆腐ハンバーグ～きのこの和風あんかけ～

### 【材料】

（肉だね）

- ・豆腐……………80g
- ・鶏ひき肉……………60g
- ・白葱のみじん切り……………20g
- ・片栗粉……………小さじ1
- ・塩……………小さじ1/6
- ・こしょう……………少々

ごま油……………小さじ1

（きのこあん）

- ・しめじ……………40g
- ・だし汁……………100ml
- ・醤油……………小さじ1/2
- ・みりん……………小さじ1/2
- ・塩……………ひとつまみ
- ・水溶き片栗粉
- 片栗粉……………小さじ1
- 水……………小さじ2
- 大葉……………1枚

エネルギー	たんぱく質	17.7g	炭水化物	10.6g
243kcal	脂質	14.3g	塩分	2.0g

### ○ポイント○

植物性たんぱく質である豆腐を使用したメニューです。豆腐を入れることでふわふわの食感になります。

きのこあんのきのこには、食物繊維、ビタミンB、D、カリウムが含まれています。



### 【作り方】

- ①豆腐はペーパータオルで包み、重しを置いて水切りをする。しめじは小房に分けて、大葉は千切りにする。
- ②肉だねの材料をボウルに入れて、なめらかになるまで練り混ぜ、平たい円形に整える。
- ③フライパンにごま油をひき、②を入れて蓋をして焼き色が付くまで焼く。上下を返し、再び蓋をしてさらに火が通るまで5分ほど焼く。
- ④小鍋にだし汁、しめじを入れて火にかける。煮立ったら醤油、みりん、塩を加え、再び煮立ったら水溶き片栗粉を加えてとろみをつける。
- ⑤器に③を盛り、④をかけて大葉をのせる。